

付録 TNCコマンドリスト

- ・内蔵TNCがサポートしているコマンドの内容です。コマンドとパラメーターの間にはスペースをそうにゆうします。また複数のコマンド間は“,”で区切ります。

コマンド名	省略形	機能内容	設定範囲	初期値
8BITCONV	B	コンバースモードでの文字コードのビット数	ON/OFF	ON
AFILTER	AF	コンバースモードで指定した文字コードを除去して表示する。	S-\$80	0
AUTOLF	AU	ホストに対し「CR」の後に「LF」を付ける。	ON/OFF	ON
AXDELAY	AXD	音声レピータの遅延時間を設定する。10ms単位	0-120	0
AXHANG	AXH	音声レピータのハンガアップ時間を設定する。100ms単位	0-250	0
BEACON	B	ビーコンの送信間隔を設定する。10s単位	EVERY/AFTER n (0-250)	EVERY 0
BTEXT	BT	ビーコンとして送信する文字列を設定する。	159文字	—
CALIBRAT	CAL	マークとスペースをデューティ50%で送信する。「Q」をタイプするとキャリブレートモードを終了する。	—	—
CHECK	CH	相手からのパケットが途絶えてからディスコネクト（存在確認）するまでの時間を設定する。10s単位	0-250	30
CONMODE	CONM	コネクトされたときにコンバースモードに移行するか、トランスペアレントモードに移行するかを設定する。	Convers/Trans	Convers
CONNECT	C	コネクト要求を出す。（VIA以降は中継局のコールサイン）	Call (VIA Call1, ..., Call8)	—
CONOK	CONO	他局からのコネクト要求に応じるか応じないかを設定する。	ON/OFF	ON
CONSTAMP	CONS	コネクト表示に日付をつけるかどうかを設定する。	ON/OFF	OFF
CONVERSE	CONV/K	コンバースモードに移行する。「K」だけでもOK。Ctrl-Cでコマンドモードに戻る。	—	—
CPACTIME	CP	コンバースモードでもPACTIMEを有効にする。	ON/OFF	OFF
CR	CR	送信パケットに「CR」を付加する。	ON/OFF	ON
DAYSTAMP	DAYS	TIMEを送信するときに日付を付けるかどうか	ON/OFF	OFF
DAYTIME	DA	日付・時刻の設定・表示	YYMMDDhhmmss	—
DAYUSA	DAYU	日付表示はアメリカ式かヨーロッパ式か	ON/OFF	ON
DIGIPEAT	DIG	ディジピータ（中継局）になるかどうかの設定	ON/OFF	ON
DISCONNE	D	ディスコネクト要求を送信する。	—	—